

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年11月19日時点)

露軍は、**ウクライナ東部・南部地域**での攻勢やウクライナ全土に対する**ミサイル・無人機攻撃**を継続。また、ウクライナ軍も無人機等による露領内への攻撃等を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

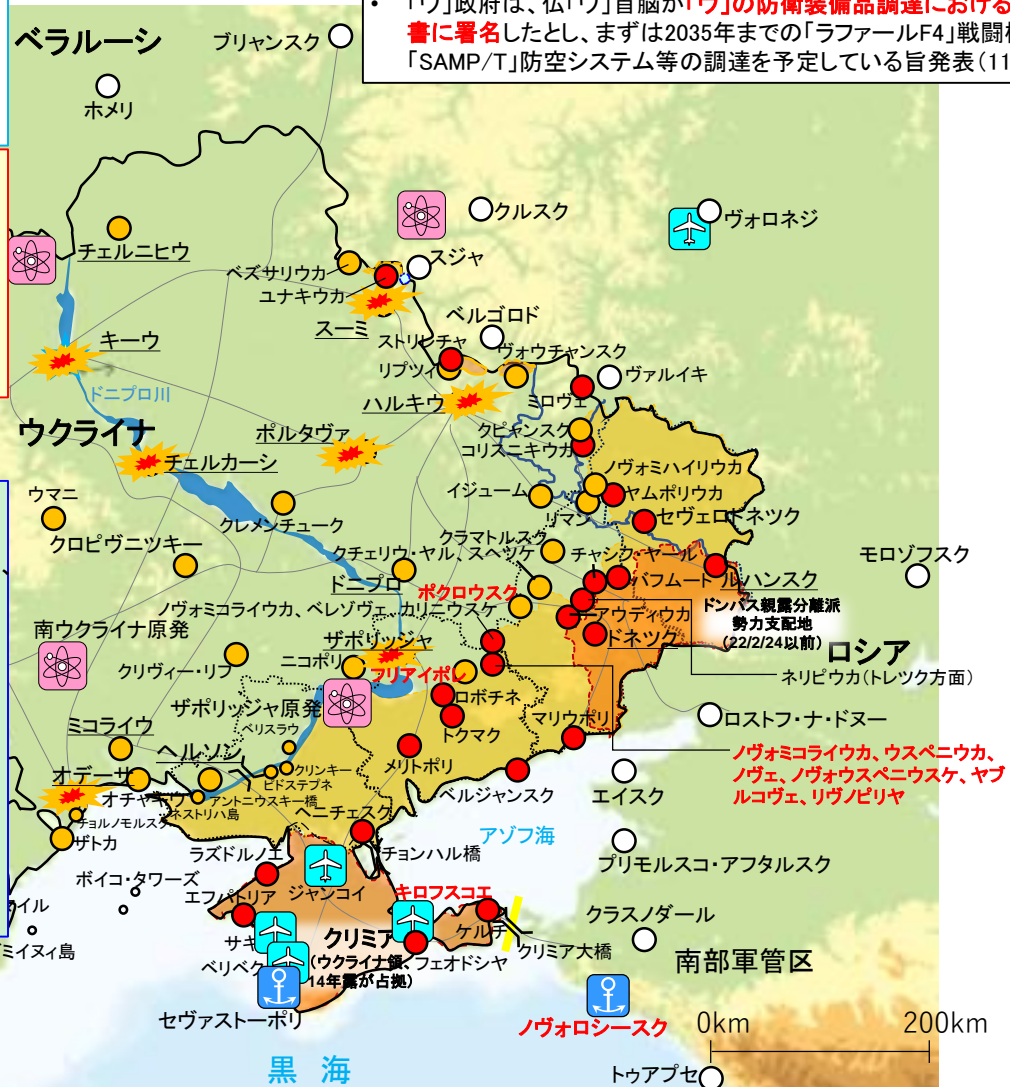
露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
: **死者最大25万人、死傷者95万人以上**(CSIS25年6月3日)
: **死傷者約114万人**(英国防省25年11月14日)
「ウ」軍: **死者約4.5万人**(ゼレンスキー大統領25年2月4日)
: **死者最大6~8万人、死傷者約40万人**(CSIS25年6月3日)
「ウ」市民: **死者1万4,534人、負傷者3万8,472人**(UN25年11月12日)

- 韓国国家情報院によれば、現在、**北朝鮮兵士約1万人**が露「ウ」国境付近で警備を実施(11月4日)
- 「ウ」軍総司令官は、露の攻勢が**最も活発**であるのは**ドネツク州ポクロウスク方面**であり、戦闘の40%が同方面で生起しているほか、**ザポリヅジャ州フリアイボレ方面**の戦況が大幅に悪化等と表明(11月11日)
- 露国防省は、**ザポリヅジャ州ノヴォミコライウカ**(10月31日)、同州**ウスペニウカ**(11月7日)、同州**ノヴェ**(10日)、同州**ノヴォウスペニウスケ**(11日)、同州**ヤブルコヴェ**(15日)、同州**リヴニピリヤ**(16日)を解放したと発表

- 「ウ」外相は、露がウクライナへの攻撃に、**地上発射型巡航ミサイル「9M729」**(SSC-8)を投入している旨言及(10月31日)
- 「ウ」軍参謀本部は、**「ウ」製新型巡航ミサイル「フラミンゴ」**など様々なミサイル、無人機及びジェット推進式無人機を使用して、**クリミア**など一時占領地域や露領土の数十の施設を攻撃したと発表(11月13日)
- 「ウ」空軍は、露が**無人機×430機**と弾道ミサイル**「イスカデルM/KN-23」**や極超音速巡航ミサイル**「ツィルコン」**等**ミサイル×19発**で「ウ」を攻撃と発表。ゼレンスキー大統領は、4人が死亡、数十人が負傷と言及(11月14日)
- 「ウ」軍参謀本部は、露**クラスノダール地方ノヴォロシースク港**を**「ウ」製巡航ミサイル「ネプチューン」**と無人機で攻撃したと発表。同地方作戦本部は、「ウ」無人機により**ノヴォロシースクの石油貯蔵施設**が損傷したと表明(11月14日)
- ゼレンスキー大統領は**「長距離ネプチューン」**(「ネプチューン」の改良版)による露領土への攻撃が成功と発表(11月14日)
- 「ウ」軍参謀本部は、同軍が、**米製長距離ミサイル「ATACMS」**を使用し、露領土の軍事施設への精密攻撃を成功裏に実施したと発表(11月18日)

- 「ウ」国防相は、「シャヘド」無人機に対抗するため独自の**迎撃用無人機「オクトパス」**の量産を開始すると発表(11月14日)
- 「ウ」政府は、仏「ウ」首脳が**「ウ」の防衛装備品調達における協力に関する意向書に署名**したとし、まずは2035年までの**「ラファールF4」戦闘機×100機**や**「SAMP/T」防空システム**等の調達を予定している旨発表(11月17日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が占領した地域



国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等